

# イタリアバロックと テンペラ画の世界 甘美な世界

レ・タンブル&  
ハルモニア・レニス  
×  
森花枝



2026  
4/12  
[日]

14:00開演 | 13:15 受付・開場

会場 | 桜美林芸術文化ホール内プロビデンスホール

チケット | 一般 2,000円 全席自由/事前予約制  
(6-25歳) 学生 1,000円 ※未就学児入場不可

※障がいのある方の介助者のみ1名無料 (障がい者割引はございません)  
※チケットのお支払いは現金のみ (事前支払いも可)

## program

モンテヴェルディ:  
《オルフェオ》よりトッカータ&リトルネッロ  
ファルコニエーリ:  
ラ・スアーヴェ・メロディア (甘美なる旋律) ほか

プロビデンスホールの豊かな響きとチェンバロの音色—。  
美の国イタリアの世界観をお楽しみください

チケット申込は  
▼こちら

ブルージュ国際古楽コンクールで優勝したフランスを拠点に活躍する「レ・タンブル」と、国内外で数多くの演奏会を行う実力派「ハルモニア・レニス」、日仏2つのグループが融合した古楽アンサンブル。西洋絵画の古典技法「テンペラ」を用いる森花枝の作品を掛け合わせた特別なコンサートです。



主催 | 学校法人桜美林学園 桜美林芸術文化ホール 協力 | 町田市

## Profile

## レ・タンブル&ハルモニア・レニス



ブルージュ国際古楽コンクールに優勝しフランスを中心に活動するレ・タンブル（川久保洋子、ミリアム・リニョル、ジュリアン・ヴォルフス）と、日本を拠点に活動するハルモニア・レニス（水内謙一、村上暁美）、2つのアンサンブルのコラボレーションによるコンサートとして、2011年リヨン国立高等音楽院の招聘により初公演を行う。2013年には日本ツアーを行い、Hakuju Hallでの演奏会はNHK-BS「クラシック倶楽部」やNHK-FM「ベストオブクラシック」にて放送され、「音楽の友」にも記事が掲載された。その後フランスを中心に数多くの音楽祭に出演。ヨーロッパのFLORAレーベルよりリリースしたCD『甘美なる旋律～17世紀イタリアの器楽作品～』は仏ディアパソン誌にて5つ星を獲得、また2025年にリリースした新譜『テレマン：6つのトリオ1718』は、フランスの権威ある文化雑誌『Télérama（テレラマ）』が発表する「年間ベストアルバム」に選出された。独創的なアイディアを駆使したプログラムはヨーロッパでも話題を呼び、リコーダー、ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、2台のチェンバロ、オルガンという多彩な編成、美しい音色と気品ある演奏が高く評価されている。

## レ・タンブル

ミリアム・リニョル Myriam Rignol  
(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

ブルージュ国際古楽コンクールをはじめ数々の国際コンクールで受賞し、レ・ザール・フロリサンなどフランス古楽界のトップレベルのグループで活躍する、フランスを代表するヴィオラ・ダ・ガンバ奏者。リヨン国立高等音楽院教授。

ジュリアン・ヴォルフス Julien Wolfs  
(チェンバロ&オルガン)

ブルージュ国際古楽コンクール・チェンバロ部門にて最高位並びに聴衆賞、ミンコフ出版賞を受賞。リチェルカール・コンソートとの共演をはじめフランスを中心に国際的に活躍する。プザンソン地方音楽院チェンバロ科教授。

川久保 洋子 Yoko Kawakubo  
(ヴァイオリン)

フランス・リヨン在住。桐朋学園大学音楽学部および東京芸術大学大学院古楽科、フランス国立リヨン高等音楽院卒業。プレミオ・ボンポルティ国際コンクールにて第4位受賞。フランスを中心に数々の古楽団体にて活躍する。

## ハルモニア・レニス

水内 謙一 Kenichi Mizuuchi (リコーダー)

東京芸術大学音楽学部楽理科卒業後、ドイツ・ケルン音楽大学リコーダー科を卒業し、演奏家ディプロマを取得。帰国後は国内外で演奏活動を行うほか、指導にも力を注いでいる。リコーダー講師としてNHKラジオ高校講座「音楽I」に出演。

村上 暁美 Akemi Murakami (チェンバロ&オルガン)

桐朋学園大学研究科修了。ドイツ・ケルン音楽大学チェンバロ科を最優秀の成績で卒業し、演奏家ディプロマ及びドイツ国家演奏家資格を取得。国際古楽コンクール〈山梨〉チェンバロ部門最高位受賞。2022年同コンクールにて審査員を務める。

## 展示作品

## 森 花枝 Hanae Mori

テンペラ画家。跡見学園女子大学文学部美学美術史学科卒業。美術教員育成課程の実習助手として再就職した折、様々な授業を手伝うかたわら、イタリアの古典的な技法である「黄金背景テンペラ」を学ぶ機会に恵まれる。退職後は独学で技法を確立。豊かな自然や世界各地の音楽や民族芸術、日本の古の時代から続く文化やマインドなどからインスピレーションを得て興味関心を深め、オリジナル作品に昇華させている。個展を中心に活動。最近では、依頼された作品の制作やワークショップの開催、様々な分野とのコラボレーションイベントの企画・運営なども手がけている。

「テンペラ画」とは、イタリアの古典絵画技法「テンペラ」で描かれた絵画のこと。12世紀～15世紀が最盛期で、当時はキリスト教に関連する宗教絵画が多く制作された。板に石膏を塗ったものを下地として、顔料に卵の黄身とお酢を混ぜたものを絵の具として使用。純金箔や宝石など使い、絢爛豪華な装飾を施すのが特徴で、絵画の技術だけでなく、彫刻、工芸、彫金など様々な技法を用いて制作するため、絵を「描く」というよりも「創る」と表現した方がしっくりくる。ルネサンス時代に活躍したレオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロ・ブオナローティ、ラファエロ・サンティなどもテンペラ技法を用いて絵画を制作していた。テンペラ画は、油絵具のように酸化して変色やひび割れをすることはほとんどないため、ほぼ500年、描いた当初の色彩が褪せることはないと言われており、上にのせられたニスを取り除くだけで鮮やかな色彩が蘇り、時空を超えて感動を私たちに与えてくれる。



## お申込み・お問い合わせ

イベント詳細は  
コチラから↓



桜美林芸術文化ホール

J. F. Oberlin Hall of Arts and Culture

Tel : 042-739-0071 (平日10:00-16:00)

〒194-0032

東京都町田市本町田2600-4

当館Instagramはコチラから→  
ぜひフォローしてください♪



## <交通アクセス>

JR・小田急線「町田」駅から  
神奈川中央交通バス

「町田バスセンター」

(4番・5番のりば) から

「山崎団地行」または

「山崎団地センター行」乗車約

20分「山崎団地センター」バス

停より徒歩5分。



※キャンパス内駐車場はご利用いただけません。公共交通機関をご利用ください。